

町マップで道案内
(ひみつの目的地はどこ?)

() 組 なまえ _____

領域・形態・時間	話すこと [やり取り] ペア・役割こうたい 20分
ねらい	地図を見ながら Go straight. / Turn right [left]. / You can see it on your left. で目的地まで案内する——単元ゴールの本番。

やり方 この流れでやってみよう

- 1

Put your finger on START. Go up!

指をSTARTに置く。地図の上に向かって歩くよ
- 2

Guide: choose a place. Don't tell!

案内する人は行き先を1つ決める（名前はまだ言わない）
- 3

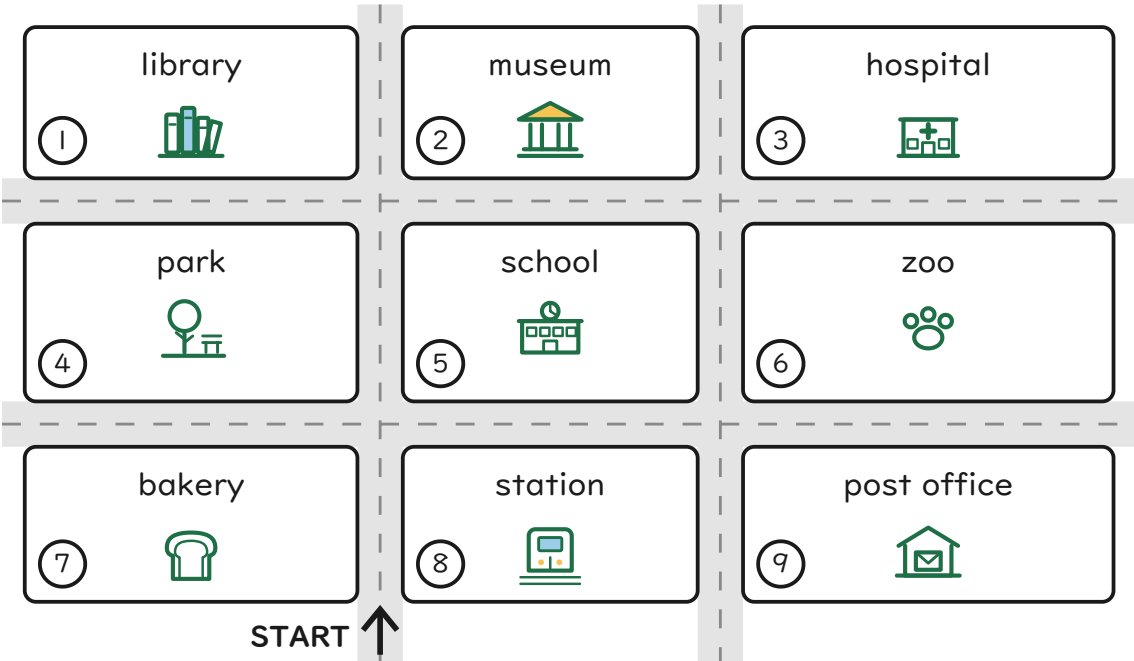
Go straight. Turn right. Stop!

道案内スタート。あいての指を見ながら、止めたいところで Stop!
- 4

You can see it on your left. — Change roles!

さいごに「左（右）に見えるよ」。あいては着いた場所を英語か番号で答える→役割こうたい

町マップ この町を、指でたどって案内しよう（STARTから上へ）



Go straight.



Turn right.



Turn left.

Where is the ...? (～はどこ?) / Stop! (そこでストップ) / You can see it on your left [right]. (左 [右] に見えるよ) / Thank you. — You're welcome.

かい	あいての名前	ついた場所（英語でも番号でもOK）	合った？
1			○ ・ ×

2			○・×
---	--	--	-----

ルール

①行き先を先に言わない ②あいての指を見て話す（止めたいときは Stop!） ③まちがえてもだいじょうぶ。
Sorry! One more time. と言えばやり直せる

☆レベルアップ！ 案内の前に Where is the museum? と聞いてもらう形にすると、本物のやり取りに近づく。
さらに Go straight for two blocks. が言えたら道案内マスター。

先生へ（運用のコツ・中間指導）

- ・拡大した町マップを黒板に貼り、〈先生が案内→全員が指でたどる〉を2回やってからペアへ。いきなりペアにすると崩壊する
- ・中間指導は「相手の指を見て Stop! と言えた子」を取り上げる。文の長さより相手意識が先
- ・◎第5時の見取り（知技）はここ。Go straight / Turn right が地図の動きと合っているかだけを見る（発音や a・the は見ない）

中間指導の進行台本（第6時）

この紙は先生用（1部だけ）：主活動の20分を「1回目 → ことばの補給 → 2回目」のサンドイッチにする先生用の台本。1回目で言えなかったことを、同じ20分のうちに「言えた」に変える——時間は1分も足さない。

20分のサンドイッチ 第6時の主活動20分＝道案内ツアー本番①を「サンドイッチ」にする

分	やること	先生のうごき
0-7	道案内ツアー1回目（案内→交代）	1回3分×2人。先生は「地図のどこかで止まってしまったペア」を見つけておく
7-9	あつめる：言いたかったのに言えなかったこと	「日本語でOK」と先に宣言する。案内側（言えない指示）と歩く側（したかった確認）の両方から
9-12	英語にする：下の補給表から黒板へ	近いものを書き写し、全員で2回ずつ声に出す（先生がその場で英語を作らなくてよい）
12-13	自分の台詞にもどす	さっき言えなかった子が、となりに向かって1回言えたら準備完了
13-20	ツアー2回目（役割こうたい）	「補給したことばを1つ使えたら名ガイド」。まよっても立て直せたら◎

ことばの補給表 「言いたかった」を、ここから黒板に書き写すだけ

言いたかったこと	こう言える	ひとこと
まよった！もう一回聞きたい	Where is the park?	単元の質問は、聞き返しにもそのまま使える
ゆっくり言って	Slowly, please.	「こまったときのえいご」ポスターのことば
ここ？（指で確認）	Here?	1語＋指さして確認になる
ちがう、そっちじゃない！	No, no. Turn left!	単元の表現で言い直せば、それが訂正になる
ここは公園……だよね？	The park?	語尾を上げてくり返せば、たしかめの質問になる
おいしい！	Nice try!	ゲームの定番のはげまし
もう一回ははじめから	One more time, please.	やり直しの道具
案内ありがとう！	Thank you! Nice!	終わり方で役割こうたいが気持ちよくなる

表にないことばが出たら
「つきあたり」「ふみきりをこえて」のようなことばは、無理に英語にしない。「指でいっしょにたどって Go, go, go... Stop! でOK」と返す——まちがった英語をその場で作らないことがいちばん大事。次の時間に正しい形で持ってくればよい。

先生へ（この20分の勘どころ）
・この20分は主活動そのもの——時間は足さない。第7時のツアー本番②も、この台本と同じ進行で回せる
・案内が止まる原因の9割は速さ——補給のあと「ゆっくり・1つずつ」を全体で確認すると、2回目を通る
・歩く側の指たどりを止めない。聞くだけの子ども指は動く——それも参加（2枚目の配慮の通り）
・はやいペアには記録役や「たどりつけた組の数」を数える係を。先生役は頼まない